

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	行政サービスの基盤となる各行政情報システムの安定稼働を常時確保するとともに、効率性及び安定性並びにトータルコストに配慮し、適正なシステム調達が行われている状態を目指します。また、社会保障・税番号制度が円滑に導入され、住民負担の軽減と行政運営の効率化のための情報システム基盤づくりが促進されている状態を目指します。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし システム安定稼働率 単位 %	100	100	100	100	100	100	A	
			100	100	100	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 システム安定稼働率 単位 %	100	100	100	100	100	100	A	
			100	100	100	-	-	0.0	
2	幸福 06030100 行政情報システムの安定稼働の確保 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
3	暮らし 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	35.8	40	42	43	45	46	C	
			36	36.4	37	-	-	11.8	
4	幸福 06030200 番号制度の円滑な導入 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
	単位								

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策：03 安定した行政情報システム基盤の確保

主管課長職・氏名	情報システム課長 久保 正秋
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム最適化計画に基づくシステム審査会を適宜開催し、適正なシステム調達の実行に取り組みました。また、仮想基盤を活用したシステム更新の実施を進め、システムの集積化及び集約化を促進しました。 ・番号制度対応においては、各法施行日に向けた個人番号の付番・交付、個人番号の利用、他機関との情報連携へのシステム・業務・例規等の対応を計画的に実施し、関連するシステム基盤の安定運用に努めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <p>番号制度における情報連携の円滑な開始と情報システム最適化の継続的な取り組み</p> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <p>番号制度における情報連携においては、各業務システムの副本登録及びテスト作業等を計画的に実施し、円滑に開始しました。また、情報システムの最適化については、システム審査会等の適宜開催及び仮想基盤を活用したシステムの集積化、集約化を促進し、より効率的で安定性の高いシステム基盤の実現に努めました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・地方財政状況の変化 ・国のIT戦略によるIT活用社会の進展による、住民のライフスタイルやニーズの変化 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須となることから、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号制度については、制度の基幹となるシステム基盤構築及び情報セキュリティ環境の強化といった大きな局面を終え、今後は新たな業務拡大等へ対応を図りながら、安定した制度運用に努める必要があります。 ・国のIT戦略が、施策展開に大きく影響を及ぼすことから、継続して国の動向を注視するとともに、新たな技術情報等の収集に努め、情報システムの最適化とセキュリティを含めた安定化を継続的に図っていく必要があります。 	

